



OLIVE NEWS

オリーブだより えたじま

オリーブで
もっと、
わくわく。

《 スイーツ 》 江田島オリーブファクトリー

沖美町の苺「紅ほっぺ」を使用したスイーツ
倉橋産バイセンベリーフルーツソースがアクセント♪



江田島産いちごとマスカルポーネのスコップケーキ

「マスカルポーネと程よい甘さのカスタードクリームが、地元産いちごの甘酸っぱさと相性抜群な春ならではのスイーツです。オリーブオイルをかけて頂くとまた違った味わいを楽しんで頂けます。皆様のご来店をお待ちしております」
(スタッフの安田さん、福本さん)



★3月より営業時間変更【新営業時間】 平日：11:00~16:00(L015:00)
TEL：0823-57-5656 休日：11:00~18:00(L017:00)

《 ハーブティー 》 Isola Essentials

大柿町飛渡瀬などでオリーブを栽培する長澤修さん
イソラ・エッセンシャルズの屋号で商品化にも取り組んでいます



オリーブの葉ノ茶 レモングラスとオリーブリーフのティー

「自家栽培倉橋島のレモングラスと江田島のオリーブの葉をブレンドし、爽やかな風味とほのかな苦味で、おはぎや饅頭などの和菓子とも相性の良い和洋折衷なハーブティーとなっています」 (長澤修さん)



★商品の取り扱い店舗：フウド（沖美町畑）手づくりパンの店 もみの木（江田島町小用）しまのばん souda!（大柿町大原）他

そごう広島前広場に江田島市産のオリーブ



社会実験「カミハチキテル」開催

2月上旬から3月下旬まで、「基町クレドふれあい広場」にて社会実験「カミハチキテル」が開催されました。空間づくりの一部として、峰尾さん（瀬戸内いとなみ舎）が育てた樹と、市のモデル園で育てられたオリーブとが、合計10本広場内に設置されました。「広島市内の中心部で、江田島市産のオリーブに触れられる空間が出来たことは、とても嬉しい出来事となりました」と峰尾さん。



オリーブに関わる元気人を紹介

2021年4月、新年度のスタートです。
今年2月には、新たに701本の苗木が市民栽培者に助成配布されました。これで、江田島市内に植えられているオリーブは累計16,000本を超えました。

オリーブ振興が始まって10年余り。オリーブに関わる市民の数は年々増加しています。栽培に励む人、加工して商品を作る人、オリーブを使って飲食店を営む人、オリーブを授業の題材として扱う人、などなど。

今回のオリーブだよりでは、オリーブと関わり、オリーブを楽しみ、オリーブでいきいきと暮らしている皆さんをご紹介します。



江能分級の生徒がオリーブの枝で製作したおもちゃの車



栽培情報 - 春のオリーブ栽培

ゾウムシ警報発令！



暖かくなってくると害虫対策が必要です。樹の根元に木くずが出ていたら、オリーブアナアキゾウムシによる食害のサインです。マイナスドライバーなどで樹皮を削り、幼虫を捕殺しましょう。

症状

こんな時にはゾウムシ発生が疑われます

- ・樹の一部の葉が黄色に変色し、ぱらぱらと落ちている
- ・株元にオガクズ状の粉がある
- ・株元の幹に穴があいている

ゾウムシによる食害で
大きくなったオリーブでも枯れます

対処・防除

捕殺、もしくは薬剤による殺虫と防除

- ①（殺虫として）被害発見や発生確認時に薬剤を散布する
- ②（予防として）4月・6月・8月など2か月おきに主幹へ薬剤を散布する（スミチオン50倍稀釈、もしくはダントツ4,000倍稀釈）
※葉や果実に薬液がかからないよう注意する
※スミチオンの年間使用回数は3回まで